

東彼杵道路(佐世保市～東彼杵町)

参考資料

令和4年1月17日

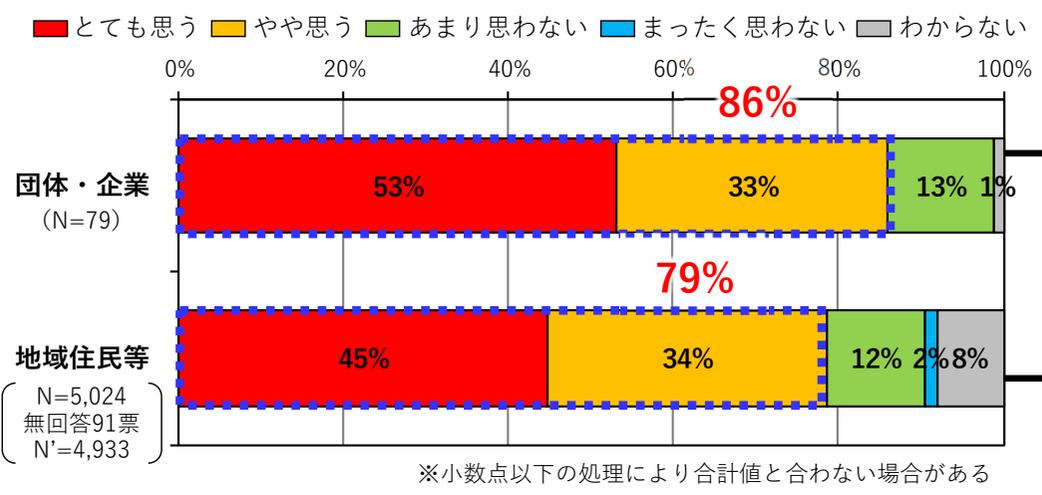
国土交通省 九州地方整備局

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「産業・暮らし」>

自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある>

- いずれの意見聴取方法においても、約8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、渋滞により時間がかかる・時間が読めない、高速道路が無いといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、企業間連携や観光周遊などの阻害、IR誘致に向けた対応などが問題視されている。



- ### <団体・企業>
- 佐賀を経由して遠回りしないといけない。(宿泊・飲食サービス業)
 - 福岡に行くのと、長崎市に行くのが変わらない。(卸売・小売業)
 - 時間帯や渋滞状況によっては、県外を営業した方が時間対効果が見込まれる。(卸売・小売業)
 - 時間がかかるのは慣れているけど、時間が読めないのは困る。(卸売・小売業)
 - 通勤時間帯や土日などの渋滞が常態化している。(団体)
 - 希望する時間に到着しなかった。(卸売・小売業)
 - 現状は我慢できると思う。(卸売・小売業)

- ### <自治体意見>
- ・ 南北間の産業や観光の連携に支障があり、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」においては、原城跡と県北(平戸・佐世保)の構成資産との結びつきも重要である。
 - ・ 南北間の移動時間が短縮できれば、県内間での移動も活発になり、観光や経済に好影響となると思われる。
 - ・ IR誘致の実現が高まっており、IRが開業した際は年間840万人の来訪者を想定していることから、長崎空港からのアクセス、広域道路ネットワークの構築が必要。

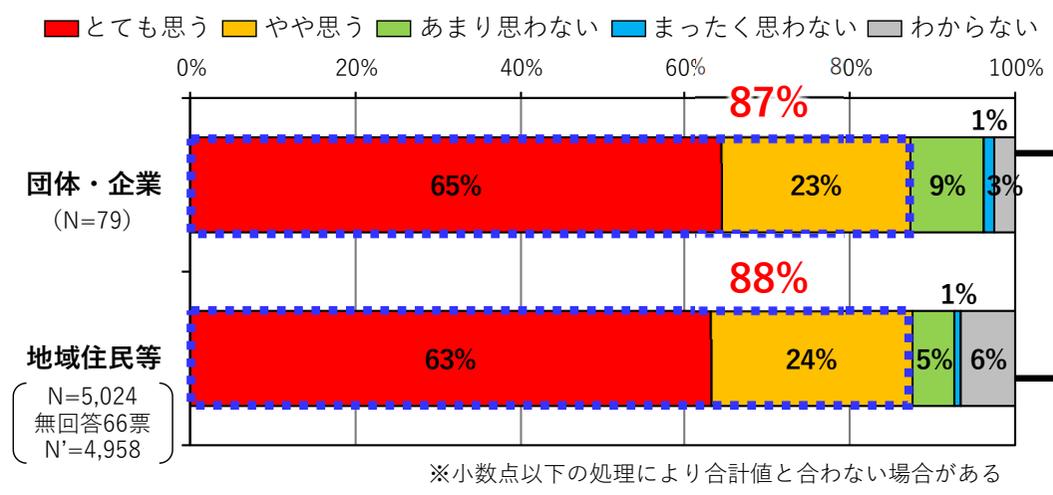
- ### <地域住民等>
- 毎朝通勤しているが渋滞箇所が多い。
 - 物流とかに影響が出ていると思う。
 - 交通をスムーズにすれば、多くの観光客を呼ぶことができると思う。
 - 県北からは東彼杵まで行かないと高速道路がないので県南に移動する気になれない。
 - 県北から県央・県南へのアクセスが悪いため、県外へ買い物や観光に行ってしまう。
 - 土地が離れている以上、移動距離に時間がかかるのは仕方ない。
 - そもそも産業や観光等の連携がなされているのか疑問。

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「産業・暮らし」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している>

- いずれの意見聴取方法においても、約9割が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、移動時間の遅延による日常生活や経済活動への影響に関する意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、渋滞により移動時間が読めない、IR誘致成功時の更なる渋滞悪化などが問題視されている。



- #### <団体・企業>
- 普段の倍くらいの時間を要する。(運輸・郵便業)
 - イベント開催時は渋滞し、一般道路から国道に入る事すらできない事がある。(医療・福祉)
 - 移動時間が予測出来ないくらいに渋滞する。(運輸・郵便業)
 - できるだけ余裕ある所要時間を見積もるが、新茶の繁忙期と重なるため急かされる。(卸売・小売業)
 - コロナ禍で以前よりましではあるが物流に影響はある。(製造業)
 - 渋滞している時は、波佐見経由で通行したことがある。(製造業)
 - 昔の方がもっとひどかった。(製造業)
 - 最近では混んでない。(製造業)

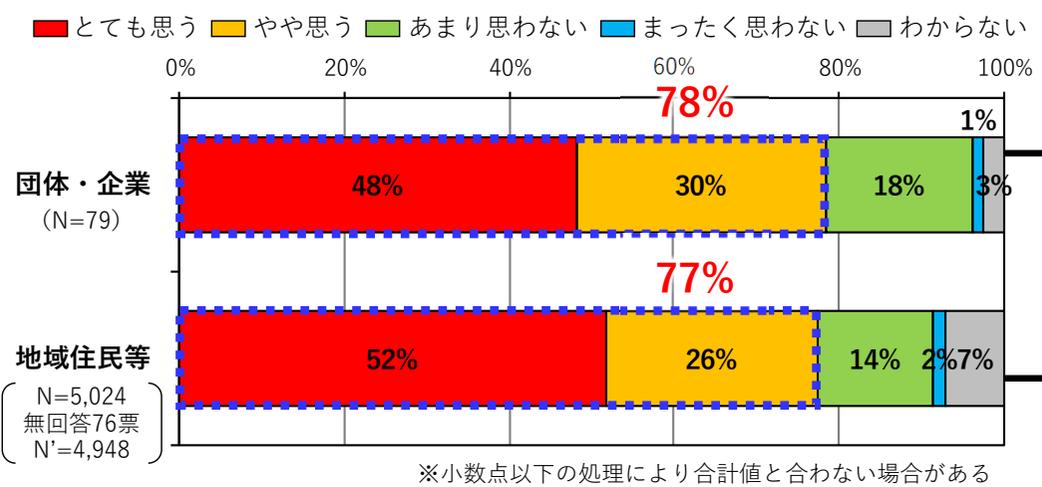
- #### <自治体意見>
- ・ハウステンボスのイベント時期や大型連休中、帰省などで長崎空港に送迎する際、同区間は通行車両が多く、自然渋滞や信号渋滞に加え、事故渋滞に遭遇する機会が多く、移動時間が読みづらい。
 - ・ハウステンボス周辺の渋滞について、県北地域からハウステンボス以南への移動時に不要な時間がかかり支障がある。
 - ・IRの誘致が成功すれば、これ以上の渋滞が予想される。それでは困る。

- #### <地域住民等>
- 最悪な状況です。一刻も早く改善してもらいたい。
 - ゴールデンウィークの渋滞が酷く、日常の買い物などが大変。
 - 花火大会と知らずに通って東そのぎインター付近から早岐の自宅まで3時間位かかった。
 - ゴールデンウィーク時など出かけるのを躊躇してしまう。
 - 渋滞の時期にはあまり通らないようにしている。
 - イベント開催時などは他県ナンバーが多くなり、非常に流れが悪くなってる。
 - 最近ではコロナで賑わってない。

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「産業・暮らし」>

自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果 <③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い>

- いずれの意見聴取方法においても、約8割が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、長崎空港まで時間がかかる・時間が読めない、他の空港を利用するといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、長崎空港までの速達性・定時性・代替性などが問題視されている。



- ### <団体・企業>
- 平均1時間半、渋滞時は2時間以上かかる。(運輸・郵便業)
 - 低速車や渋滞・事故があったら困るから極力福岡空港を使う。(製造業)
 - 実際に渋滞に遭遇し、迎えに遅れたことがある。(団体)
 - 片側一車線のため、事故等により渋滞が発生すると、予定の時間に間に合わない。(医療・福祉)
 - 高速道と距離が遠すぎる。(運輸・郵便業)
 - 川棚町内から東そのぎICまで時間がかかる。(団体)
 - 空港というよりは、長崎市方面へのアクセスが悪い。(卸売・小売業)

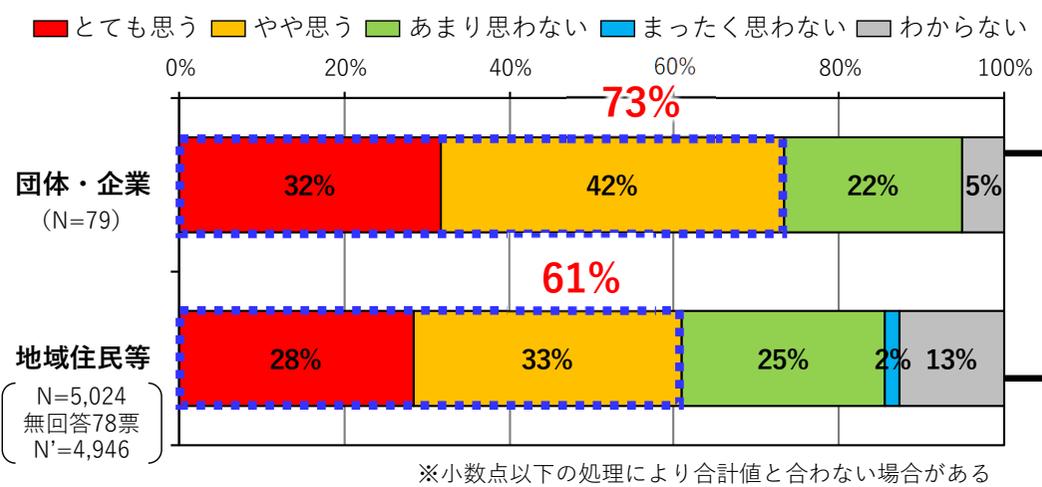
- ### <自治体意見>
- ・ 国道205号等の混雑等により所要時間についても30分弱の差が生じ、空港までの定時性が確保されていないため、路線バスの運行支障や、利用者の不満が生じている。
 - ・ 事故等が発生すると迂回路がないため、飛行機に間に合わなくなる恐れがあり、早めに出発している。
 - ・ 速達性が低く、定時性も確保できていないため、県北地域では他空港の利用率が高い傾向にあり、長崎空港の利用促進も含め、県北地域と長崎空港とのアクセス改善が大きな課題。

- ### <地域住民等>
- 県北地域に県外の観光客を呼び込むなら改善は必須。
 - 余裕を持って到着するよう出発時間を考えるが、移動時間が読めないのが不便。
 - 途中で事故などがあると迂回路もなく非常に困るため、極力佐世保の方は長崎空港を利用しない傾向がある。
 - アクセスが悪いので、佐賀空港や福岡空港を利用しがち。
 - 空港に迎えに行く時にすでに飛行機は到着していた。
 - 長崎空港より福岡空港を利用している。
 - 空港の利用頻度は少ないので我慢できるレベル。

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「産業・暮らし」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果 <④交通事故が多い区間と感じる>

■いずれの意見聴取方法においても、約6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
 ■自由意見では、線形の悪さ、幅員の狭さ、高低差の大きさ、見通しの悪さといった意見が多く寄せられた。
 ■自治体意見では、通過交通の流入や道路線形の悪さ、特に市街地部での事故率の高さが問題視されている。



<団体・企業>

- 線形が悪く、大きい車を使う身としては危険を感じる。(団体)
- 以前から事故が多い。死亡事故も過去にあった。(団体)
- 国道205号の利用が多い分、交通集中してしまい、事故をよく見かける。(運輸・郵便業)
- 片側1車線で道幅も狭い箇所が多く、上り下りの曲がりくねった道路。(団体)
- カーブ等も多く、車の運転は緊張の連続である。(運輸・郵便業)
- 交通事故等で通行規制をしている事が多く感じる。(医療・福祉)
- 事故の遭遇はあるが、そこまで多いとは感じない。(製造業)

<自治体意見>

- ・県内平均を上回る割合で事故が発生しており、特に川棚、東彼杵の市街地部では約2～3倍の事故率となっている。
- ・交通事故の約7割が交通混雑に起因する追突事故となっており、これは片側1車線で線形不良区間も多く、また信号交差点が連続していることも原因となっている。
- ・通過交通が多いことも交通事故が高まる原因の一つである。
- ・車の流れが悪いと交通事故も多くなるのではないかと思う、市街地にとどまる時間が短くなるような道路整備が必要。

<地域住民等>

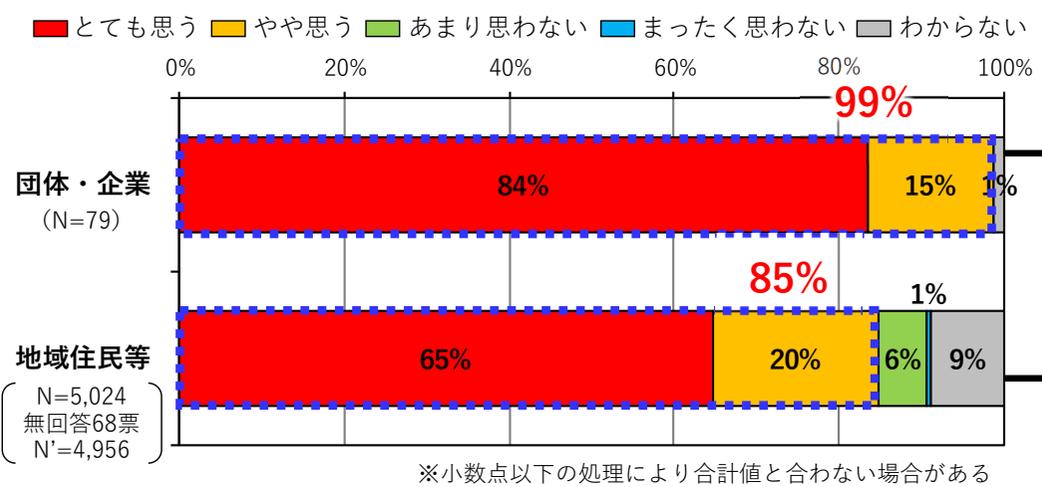
- 交通事故を見かけることが多い。
- 1車線でカーブが多く、高低差が激しい。
- 小学校の通学路となってるところがあり危ない。
- 道が蛇行して交通量も多いので特に雨の日や夜間の運転は怖い。
- 道路が狭いので危ないと思って通行している。
- 対向車のオーバーランでびっくりした事がある。
- 見通しが悪い区間がある。
- あまり遭遇したことはない。
- 経験がない。

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「産業・暮らし」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる>

- いずれの意見聴取方法においても、約9割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、事故渋滞による移動時間の遅延、迂回路が無いといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、事故発生時における救急搬送の遅延や社会経済活動への影響が問題視されている。



- #### <団体・企業>
- 特に朝に事故が起こると、全く動かないことがある。(運輸・郵便業)
 - ただでさえ渋滞するのに、事故があればなおのこと影響が出る。(卸売・小売業)
 - 抜け道がないので、通行止めになったら大渋滞となる。(卸売・小売業)
 - 普段の倍くらい時間を要する。(運輸・郵便業)
 - 片側一車線の不便さに不満を感じる。(運輸・郵便業)
 - 片側一車線で迂回路がないため。(団体)
 - 迂回路がないので事故処理を待つしかない。(宿泊・飲食サービス業)

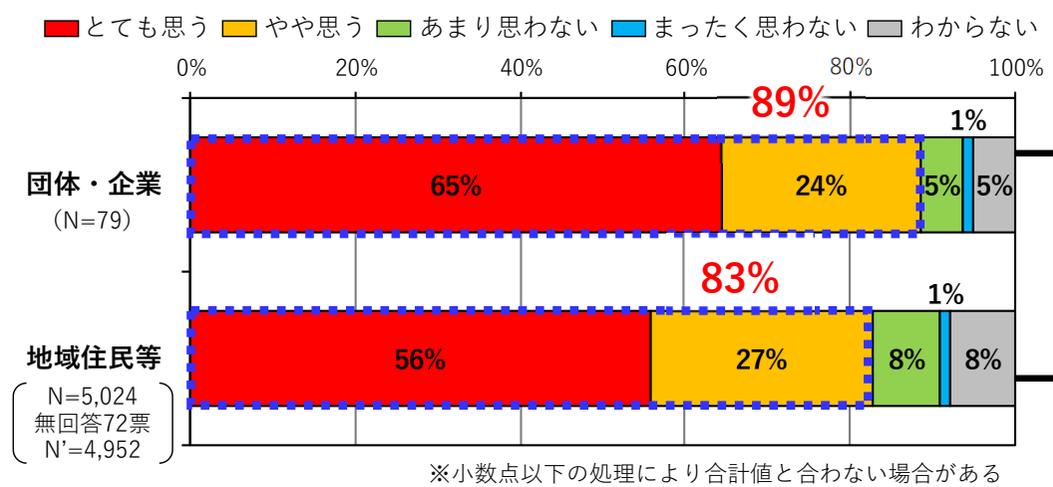
- #### <自治体意見>
- ・ 片側1車線であり、迂回路も無いため事故発生時の通行は不測の時間を要し、交通事故が起こった際の遮断リスクが高い。
 - ・ 事故に遭遇した場合、迂回路がないため時間がかかり、会議や飛行機などの時間に間に合わない場合がある。
 - ・ 事故の負傷者の救急搬送などにも大きな支障となっている。
 - ・ 東彼地区環境センター(し尿処理場)は、205号以外にアクセスがなく、通行止めが発生すると、収集運搬で不都合が生じる可能性がある。

- #### <地域住民等>
- 抜け道が1つも無く、交通事故が起きたらとても渋滞する。
 - 事故があつたりすると急いでいる時はすごく時間がかかるので不便を感じている。
 - 事故時の交通状況の悪化によって警察や消防の到着に時間が掛かっている。
 - 空港に向かう時に余裕を持っていても事故になるととても困る。
 - 迂回路が無いので そうなるんだと思う。
 - 事故が起きたらしかたない。
 - 事故が起きている時に通っていない。

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「防災」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果 <⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる>

- いずれの意見聴取方法においても、約8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、土砂崩れや浸水・冠水、落石、倒木、高波などに対する不安といった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、災害に対する不安や不満、災害時における迂回路確保が問題視されている。



- ### <団体・企業>
- 2年前の冠水時も社員が帰宅できないことがあった。(運輸・郵便業)
 - 台風時に道が低いため、水害の影響がすぐ出てしまう。(製造業)
 - 一昨年、土砂崩れの復旧作業に参加した。(宿泊・飲食サービス業)
 - 雨による冠水への不安と、道路わき壁面のがけ崩れや落石、倒木での通行止めへの不安。(団体)
 - 東彼杵町で崖崩れがあって、困ったことがあった。(製造業)
 - 台風シーズンは高波等、不安を感じる。(運輸・郵便業)
 - 海岸線の道で山がせまっていて、土砂災害が想定される。(団体)
 - 冠水の整備は以前よりは改善された。(団体)

- ### <自治体意見>
- ・今年8月の大雨時に発生した東彼杵町蔵本郷地区での路面変状による約29時間の通行止めの際には、一時、長崎自動車道や国道34号も通行止めとなったことから、佐世保方面への迂回路すら確保できない状況が発生した。
 - ・大雨時の通行規制で大渋滞に巻き込まれることが多く、その場合、迂回路がなく身動きできない状態となるため、長時間足止めされることになる。
 - ・沿線住民からも不安と不満の声が挙がっている。

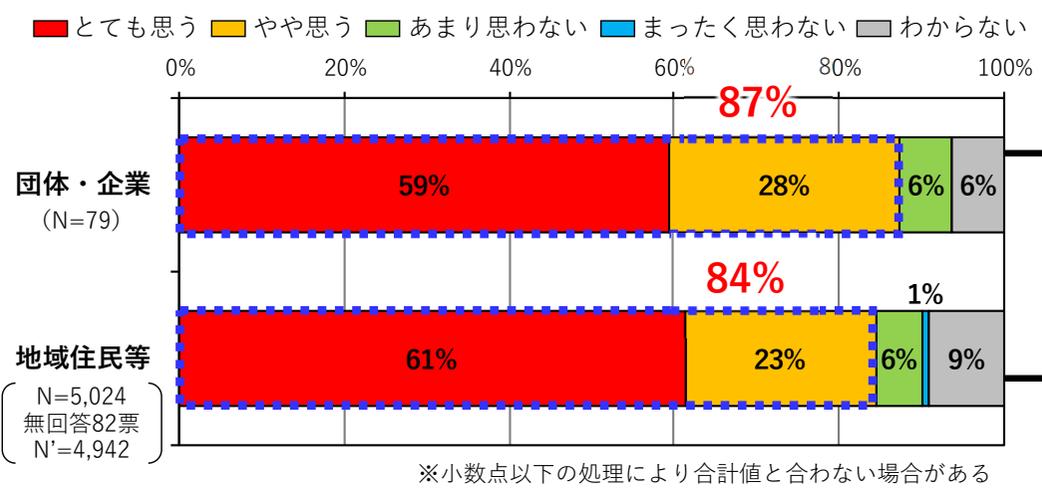
- ### <地域住民等>
- 川棚町、東彼杵町の土砂崩れや道の陥没が不安。
 - 川棚の国道は少し低く、浸水災害時は利用できるか不安。
 - 海沿いの道路であることや、低地で大雨の時は冠水するエリアもあるため心配になる。
 - 国道205号が寸断されたら、空港へのアクセスや物流に大きな支障がでる。
 - 土砂災害等が発生するおそれのある箇所が見受けられる。
 - 災害発生時にこの道路を使わないと思う。
 - 道路でなく、違う方法で命を保つ方法も考えておく。

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「防災」>

■自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果

<⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い>

- いずれの意見聴取方法においても、約8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、災害時における孤立のおそれ、代替路が無いことに対する不安といった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、災害時における日常生活や経済活動、救急搬送などへの影響が問題視されている。



- ### <団体・企業>
- 災害で道路に異常が起きた場合、代替路がないところが多く不安。(医療・福祉)
 - 孤立状況時には、全ての業務に支障をきたす。(運輸・郵便業)
 - 国道205号線が通行止めになった場合、迂回ルートがすぐに設定できず、町が孤立してしまうおそれがある。(卸売・小売業)
 - 大型車になるほど代替路が無い。(運輸・郵便業)
 - 迂回出来る道が少ない。ない所もある。(製造業)
 - 電車が通っている区間なので、支障はないと思う。(宿泊・飲食サービス業)

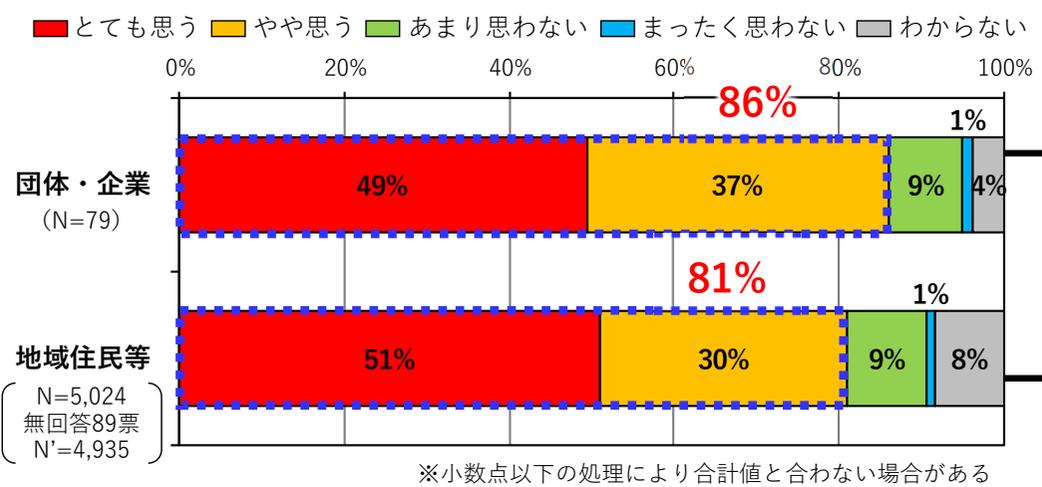
- ### <自治体意見>
- ・ 令和3年8月14日の大雨による通行止めの際は長崎自動車道、西九州自動車道も通行止めであったため、国道34号、県道1号線・4号線を迂回路としていたが、通常の約5倍の時間がかかり経済活動、救急搬送において影響が大きかった。
 - ・ 大雨による通行止めの影響で、コンビニなどの商品が無くなることが多い。
 - ・ 玄海原発における有事の際には、川棚町、東彼杵町への避難が必要となるが、避難に支障が生じる不安がある。

- ### <地域住民等>
- 冠水しててもその道路しかなく、気をつけて通るしかない。
 - 簡単に災害物資が調達できないとなると非常に困る。
 - 今年8月の豪雨では高速道路も規制され、代替路は無かった。
 - 数年前の台風の時につくづく感じました。
 - 大雨の時、迂回しようとしたがどの経路も大渋滞で帰宅に相当時間がかかった。
 - トラックなどが通れる代替路がない。
 - 海路、空路を考えれば不安はない。
 - 波佐見経由で利用できると思う。

第1回意見聴取の結果 <地域の現状と課題:「医療」>

自治体・団体・企業・地域住民への意見聴取結果 <⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある>

- いずれの意見聴取方法においても、約8割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答。
- 自由意見では、救急車の追い越しが困難、渋滞に巻き込まれるといった意見が多く寄せられた。
- 自治体意見では、救急搬送に必要な道路の速達性・安全性・信頼性などが問題視されている。



<団体・企業>

- 救急搬送中の渋滞を目の当たりにしたことがある。(団体)
- よけるスペースもない。一刻を争う時はどうしてもできない。(団体)
- 大型車の通行量が多く、救急車の追い越しがスムーズにできない。(医療・福祉)
- 命を助けるためにも、代替路が必要。(団体)
- 一刻を争う時には、とても不安を感じる。(運輸・郵便業)
- 川棚町以外に大きな病院がないので不安がある。(宿泊・飲食サービス業)
- ドクターヘリが活躍中。(運輸・郵便業)

<自治体意見>

- ・ 救急搬送を行うには国道205号を利用する必要がありますが、片側1車線でカーブも多く信号交差点が連続する区間もあることから、スムーズで安全な追い越しが難しく、救急搬送に最も必要となる速達性・安定性に課題がある。
- ・ 大雨や交通事故による通行止めの際には、救急車が迂回路がないため来てもらえない不安がある。
- ・ 長崎医療センターは、川棚町などから救急搬送を行うため、确实かつスムーズな交通の確保は特に重要な課題。

<地域住民等>

- 道が狭いので渋滞で到着が遅れそう。
- 事故やイベントなどで渋滞したときに救急車両がスムーズに行くか不安がある。
- 事故になってしまうと道が渋滞して、救急車の進みが遅くなるのを何回か見た。
- 緊急時に渋滞していると助かる命も助かりません。
- 緊急車両を通過させるのに避けれる所が少ない。
- 一本道であり、追い越しが困難。
- ドクターヘリがあるから、それを使えばいいと思う。

自治体ヒアリングの結果

自治体への意見聴取結果【長崎県】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(長崎県)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	<p>①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある</p> <p>②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している</p>
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い
	安全	④交通事故が多い区間と感じる
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる
	防災	<p>⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる</p> <p>⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い</p>
医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	
その他意見・要望		<p>・本県は、南北に長く多くの離島、半島を有しており、県土の中央に大村湾を抱えるなど特殊な地形であることから、地域間の交流促進、連携強化のため西九州自動車道や島原道路など高規格道路の整備を重点的に進めています。</p> <p>・このうち、国道205号の区間は高規格道路のミッシングリンクとなっていることから、県北地域と県央・県南地域との企業間連携や観光周遊などにおける阻害要因となっており、九州新幹線西九州ルート開業や国際クルーズ拠点の整備、IRの誘致等を考えると、今後ますます大きな支障となってくると考えています。</p> <p>・ハウステンボスでのイベント時などにおいては周辺道路が渋滞しており、特に国道205号では東そのぎICまで渋滞及び速度低下が発生するなど大きな課題となっており、現在、進めているハウステンボス横へのIR誘致が実現すると、更なる渋滞が懸念されることから早急な対応が必要であると考えています。</p> <p>・また、川棚警察署前の百津交差点及び東そのぎIC前の江頭交差点においては、朝夕の渋滞が常態化していることから当該区間の整備が必要です。</p> <p>・県北地域と長崎空港のアクセスは悪く、佐世保市においては九州の主要都市における最寄り空港までの所要時間が最も長い状況になっています。</p> <p>・空港へのアクセス道路である国道205号は片側1車線であり、渋滞や事故などにより多くの余裕時間を見込まなければならない状況にあります。このため、速達性が低く、定時性も確保できていないため県北地域では他空港の利用率が高い傾向にあり、長崎空港の利用促進も含め、県北地域と長崎空港とのアクセス改善が大きな課題の一つとなっています。</p> <p>・当該区間においては、県内平均を上回る割合で事故が発生しており、特に川棚、東彼杵の市街地部では約2～3倍の事故率となっています。</p> <p>・交通事故の特性として、交通事故の約7割が交通混雑に起因する追突事故となっており、これは片側1車線で線形不良区間も多く、また信号交差点が連続していることも原因となっていると思われます。</p> <p>・当該区間は、片側1車線で迂回路もないことから、事故等により通行ができなくなった場合は即、渋滞となってしまう、地域経済活動に大きな影響が発生しています。</p> <p>・さらには、迂回路もないことから、事故の負傷者の救急搬送などにも大きな支障となっています。</p> <p>・近年、災害が激甚化・頻発化している中、当該区間でも実際に災害による交通規制が発生しており、今年8月の大雨時に発生した東彼杵町蔵本郷地区での路面変状による約29時間の通行止めの際には、一時、長崎自動車道や国道34号も通行止めとなったことから、佐世保方面への迂回路すら確保できない状況が発生しました。</p> <p>・また、当該区間は第1次緊急輸送道路に指定されていますが、災害時における救援・物資輸送機能の信頼性に不安を感じており、平常時・災害時を問わず人流・物流を確保できる代替路整備の必要性を感じています。</p> <p>・当該区間は第1次緊急輸送道路に指定されていますが、代替路となる幹線道路が無いことから、ひとたび災害が発生した際には大きな迂回を余儀なくされ、ハウステンボス入口から江頭交差点間を迂回路を利用した場合、約30分も多くなることになります。</p> <p>・このため、災害に強い強靱で信頼性の高いネットワークの構築(ダブルネットワーク等)を整備する必要があると考えます。</p> <p>・当該区間の沿線には、第二次救急医療施設である川棚医療センターが立地しており、川棚町のほか、佐世保市、東彼杵町、西海市などの他自治体からも国道205号を利用して救急搬送がされており、また緊急を要する事案については川棚医療センターから第三次救急医療施設である長崎医療センター(大村市)への転院搬送も行われています。</p> <p>・これらの救急搬送を行うには国道205号を利用する必要がありますが、交通渋滞や事故・災害等による現道の交通規制が発生した場合、片側1車線でカーブも多く信号交差点が連続する区間もあることから、スムーズで安全な追い越しが難しく、救急搬送に最も必要となる速達性・安定性に課題がある状況となっています。</p> <p>・国道205号については、人流や物流の拠点である長崎空港への連絡や、ハウステンボスをはじめとした県内観光地の周遊を支える路線として、非常に重要な路線であると考えており、さらには九州新幹線西九州ルートの開業やIRの誘致実現に向けて、当該路線の果たす役割は今後、益々大きなものとなると考えています。</p> <p>・しかしながら、現状としては片側1車線であり線形不良箇所も多く、イベント時や主要渋滞箇所などでは交通渋滞が発生しており、災害時には代替路となる幹線道路がないため大きな迂回を強いられるなど多くの課題を抱えている区間となっています。</p> <p>・このため、災害に強い強靱で信頼性の高い交通ネットワークの構築が不可欠であり、高規格道路(バイパス)として東彼杵道路を整備することで、平常時・災害時を問わず広域的な人流、物流の確保が図られるものと考えています。</p>

自治体ヒアリングの結果

自治体への意見聴取結果【佐世保市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(佐世保市)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	<p>① 県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある</p> <p>② ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している</p>	<p>・佐世保市を中心とした「西九州させほ広域都市圏」を形成し、周辺自治体と様々な産業分野の連携を行うための重要な道路であるが、ハウステンボス入口交差点から東そのぎIC間においては片側1車線であることから、平日も渋滞が発生し、産業、観光などの経済活動に著しく支障をきたしている。</p> <p>・製造業の出荷額は県内3番目となっており、観光においては、県内観光の核となっているハウステンボスや佐世保港浦頭地区の整備による新たな観光周遊ルートの構築、観光資源が存在する島原地域・平戸北松地域を周遊する広域交通も担っていることから、南北間の移動については多くの課題がある。</p> <p>・また、令和3年8月30日付でIRの設置運営事業予定者が決定しIR誘致の実現が高まっており、今後、IRに起因する周辺の経済活動が大きく変わることも想定され、IRが開業した際は年間840万の来訪者を想定していることから長崎空港からのアクセス、広域道路ネットワークの構築が必要。</p>
	空港アクセス	③ 県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	<p>・本市からの空港アクセスは九州主要都市の中でワースト1位であり、国道205号等の混雑等により所要時間についても30分弱の差が生じ空港までの定時性が確保されていないため、路線バスの運行支障や、利用者の不満が生じている。</p> <p>・また、本路線は佐世保市から川棚町、東彼杵町を経由し長崎空港発着のバスが1日当り57便運行しているが、国道205号の渋滞等により空港までの定時性が確保されていない。また、各地域を結ぶ路線バスも運行路線となっており、都市間輸送にも支障をきたしている。</p>
	安全	④ 交通事故が多い区間と感じる	<p>・片側1車線に加え、通勤通学においても利用者が多く、またカーブが多い区間でもあるため、交通量が集中し交通事故のリスクが高いと感じる。県北地域から県中央地域への往来は『西九州自動車道・長崎自動車道ルート』、『西九州自動車道・国道205号ルート』とも時間あまり変わらないことから通過交通が多いことも交通事故が高まる原因の一つでもある。</p>
		⑤ 事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	<p>・ハウステンボス～東彼杵IC間は片側1車線であり、迂回路も無いため事故発生時の通行は不測の時間を要し、交通事故が起こった際の遮断リスクが高い。</p>
	【防災】	防災	⑥ 災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる
		⑦ 災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	<p>・本路線は緊急輸送道路に指定されているが、代替路がない。令和3年8月14日の大雨による通行止めの際は長崎自動車道、西九州自動車道も通行止めであったため、国道34号、県道1号線・4号線を迂回路としていたが、通常の約5倍の時間がかかり経済活動、救急搬送において影響が大きかった。</p>
【医療】	医療	⑧ 救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	<p>・長崎県内に3箇所ある第三次救急医療施設の内、県北地域唯一の第三次救急医療施設である佐世保市総合医療センターへの救急搬送件数は、年間約3,000回に上り、川棚医療センターからの搬送も多く、片側1車線に加えカーブ区間が多く、渋滞が発生した場合は追い越し等も困難であり速達性において問題がある。通行止めの際は救急車の出動要請があっても派遣できないなどの大きな支障をきたしている。</p>
その他意見・要望		<p>・東彼杵道路建設促進期成会(4市4町 民間45団体で構成)において、本道路の早期実現のため利用者負担による有料道路事業の活用を含めた整備手法について合意形成を図るとともに、令和元年12月には、会員、関係者が一堂に会し、総決起大会を開催し早期事業化に向け地元の期待度も高まっているところ。</p> <p>・昨年度から計画段階評価に着手され、現在、地元住民や関係機関、企業等への意見聴取を実施されていますが、地域住民アンケートにおいては想定以上の回答を得られたとお聞きし、地域住民の関心の高さを伺えるものと思います。</p> <p>・また、東彼杵道路は本年7月策定の九州地方新広域道路交通ビジョンにおける「九州リングネットワーク」において地域間の交流、連携を担うとともに、本市といたしましても佐世保市第7次総合計画では「暮らしと成長を支える道路ネットワークの充実」を掲げ、本市の道路行政の指針である佐世保市みちづくりマスタープランにおいても「高規格道路など広域道路ネットワークの構築」を施策として位置付けており、東彼杵道路は佐世保市の発展に必要な不可欠であることから、今後とも県と連携し、しっかりと事業協力を行ってまいりますので、一日も早い事業化をお願いいたします。</p>	

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【川棚町】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について			意見(川棚町)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	・県の南北間の移動時間がかかるため、佐賀や福岡方面に買い物や観光で出かける方が多い。南北間の移動時間が短縮できれば、県内間での移動も活発になり、観光や、経済に好影響となると思われる。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	・ハウステンボスの花火などのイベント開催時には、佐世保や大村から川棚町へ帰るのに渋滞が酷く、また、町内での買い物の移動においても国道からの交差点を中心に渋滞しており、日常生活にも影響が大きい。
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・空港への移動は、事故等が発生すると迂回路がないため、飛行機に間に合わなくなる恐れがあり、早めに出発している。 ・渋滞で到着時間の予想がつかない。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・国道205号の川棚町の区間は、交差点や信号機が多いため他の地域と比べると、交通事故が多い。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・国道205号で事故が起こると、迂回路がないためかなり渋滞し通常の2から3倍の時間がかかる。
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・大雨等の災害時はこれまでも何度となく冠水や土砂災害で通行止めとなっており、常に道路が利用できなくなるのではないかと不安がある。
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・大雨による通行止めの影響で、コンビニなどの商品が無くなることが多い。 ・避難所へ避難する人が、コンビニに寄ってから避難を行おうとしても商品がないことがある。
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・大雨や交通事故による通行止めの際には、救急車が迂回路がないため来てもらえない不安がある。
その他意見・要望			・今年8月の大雨による国道205号線の通行止めの際は、町内の災害対応に追われながら、大村方面から佐世保方面へ向かわれる方から問い合わせや苦情の電話が多くあり、災害対応業務にも支障をきたした。

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【東彼杵町】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について			意見(東彼杵町)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	—
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	—
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	—
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	—
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	—
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	—
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	—
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	—
その他意見・要望			<ul style="list-style-type: none"> ・本町は消防、救急業務を佐世保市に委託しているため、本年8月の大雨による国道の通行止めの際に、周辺道路も通行止めになっており、救急車が本町に出動できない状況に陥った。 ・質問として上げられた課題は今までの勉強会からもその通りであり、その他の課題についても国で取りまとめられた内容に全て集約されていると思います。

自治体ヒアリングの結果

自治体への意見聴取結果【波佐見町】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(波佐見町)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	<p>① 県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川棚駅前を通らないバイパス道の整備。(東彼杵町と川棚町境から川棚高校付近まで道路を整備する) ・県北と県南地域を結ぶ道路として整備の必要性を感じる。 ・波佐見町は、事業によって県北地区と県央地区の位置づけであるため、寸断してしまうと連携が取れない。
		<p>② ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントに関係なく時間帯によって渋滞が慢性化している(朝夕)。特に週末やイベントがある時期は渋滞している。 ・IR(統合型リゾート)の誘致が成功すれば、これ以上の渋滞が予想される。それでは困る。 ・ハウステンボスへ入るルートを橋梁整備等により増やす。(ハウステンボス駅より南部の宮付近から) ・ハウステンボスのイベントに興味のある住民は多いと思うが、渋滞するという意識があるため行きたくても行かない選択をすることが多いのではないかと。
	空港アクセス	<p>③ 県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県北と空港を結ぶ道路として整備の必要性を感じる。 ・入り組んだ海岸線の道路と市街地を通らなければならないことから時間がかかる、航空写真で見ると直線距離はたいして長くない、部分的でも直線に近くなるような道路整備が必要。
	安全	<p>④ 交通事故が多い区間と感じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車の流れが悪いと交通事故も多くなるのではないかと、市街地にとどまる時間が短くなるような道路整備が必要。 ・川棚警察署から東そのぎICまでの間で事故等があると大渋滞する。(大変苦労した経験が何回もある) ・川棚警察署付近が多く感じる。
		<p>⑤ 事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東彼杵町にある東彼地区環境センター(し尿処理場)は、205号以外にアクセスがなく、通行止めが発生すると、収集運搬で不都合が生じる可能性がある。 ・事故で通行止めになった際、他の迂回ルートがない。(東彼杵から川棚間) ・片側一車線のため交通事故が発生すると渋滞する。片側二車線となれば、多少違うのではないかと。 ・海沿いの区間は道路が一本しかなく不安を感じる(迂回路がない)。海と山に挟まれた道路になっているので不安。
【防災】	防災	<p>⑥ 災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨時の通行規制で大渋滞に巻き込まれることが多く、その場合、迂回路がなく身動きできない状態となるため、長時間足止めされることになる。 ・災害発生時は、県央保健所(諫早市)からの応援が必要となり、道路のルートは多いほどよい。 ・近年の大雨の際、山からの豪雨等で通れなかった箇所が、東彼杵町の福祉組合付近や東彼杵町小音琴付近の2箇所確認されており、復旧工事や対策工事は行っていると思うが、再度点検して新規道路の建設に反映していただきたい。 ・国道整備に併せ、う回路の整備も必要。 ・災害時、降雪時、佐世保市の宮地区で道路が寸断させることがあるため、高規格道路整備により安全性を確保してほしい。 ・災害時、東彼地区保健福祉組合付近で海側道路の崩落等により通行止めになることがあるため、生活に支障が生じる。 ・災害時、浦地区での冠水で通行止めになることがあるため、生活に支障が生じる。
		<p>⑦ 災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が一本しかなく迂回路がないため不安を感じる。 ・暴風雨でない限りは、大村湾の海路を利用できる。積み下ろし等で時間はかかるが出来るのではないかと。
【医療】	医療	<p>⑧ 救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常備消防の連携において、東彼杵出張所からの出勤もあり、一刻を争う際の不安がある。(波佐見出張所が出払っている場合) ・波佐見町は、県央圏域の位置づけであるため、寸断してしまうと連携が取れない。(感染症等の取り扱いは県央保健所) ・国道を中心に接続する道路も併せて整備すればう回路となり、搬送の不安も少しは緩和されるのではないかと。
その他意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> ・道路拡幅は、費用面では安く済むようにも思われるが、土地の買収等に時間がかかり、結果長期間の工事となり地域への効果が遅くなる。その点から費用はかかると思われるが、大崎半島の付け根付近から東彼杵町千綿駅付近まで橋を架けてバイパスを作るということも考えてはどうか。 ・現道の改良はなかなか難しいと思うので、山間部をトンネルや橋梁にて整備し、用地買収を少なくし早く佐世保から東彼杵まで道路拡幅・道路改良してほしい。 ・渋滞が発生すると、車から二酸化炭素が排出され、環境にも影響があるのではないかと。CO2削減に取り組む必要もある。 ・IRを誘致するためにも、最寄り空港からハウステンボスまでの道路として早急な整備が必要。 ・人のすれ違いも困るほど歩道が狭い箇所もあるため、整備が必要。 ・205号ではありませんが、波佐見方面にも平瀬佐世保線が通っているのでニッ岳にトンネルを掘っていただき、川棚町までの迂回路として早岐・広田地区からの車の流れを確保していただきたい。 ・波佐見町から東彼杵町へ直接つながる道路がないため、東彼杵道路の分岐を考える際、波佐見町へのアクセスも考えて設けることはできないかと。

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【佐々町】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(佐々町)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	・県北地域から県南地域への移動について、多くの時間を要し支障があると思う。移動時間の短縮を望んでいる。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	・ハウステンボス周辺の渋滞について、県北地域よりハウステンボス以南への移動時に不要な時間がかかり支障があると思う。
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・空港利用の際、移動時間が読めない。余裕の時間を取り過ぎて支障があると思う。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・分からない。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・分からない。
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・分からない。
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・分からない。
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・県北地域からの救急医療施設の利用がないため分からない。
その他意見・要望		・特にありません。	

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【平戸市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について			意見(平戸市)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎・諫早・大村に行く場合、生活道路も兼ねていることから遅い車、右折車などが多くすぐに渋滞になるので利用しにくい道路である。 ・長崎県の観光ルートが南北に分断されている状況である。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞しているイメージがあり、時間に余裕がないときはなるべく利用しないで別ルートで目的地に行くように心掛けている。 ・ゴールデンウィーク等混在するので高速を使用するか、日程を変更せざるを得ないので不便である。
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞が予測されるため、十分な余裕をもって出発しなければならない。 ・飛行機の出発時間に間に合わせるには、西九州自動車道路、長崎自動車道路を利用せざるを得ないため通行料が負担となる。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に利用しないので分からないが、道路線形が悪く通行時に危険を感じるため、新たな路線の整備は安全上の観点から必要だと思う。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	<ul style="list-style-type: none"> ・移動中事故に遭遇した場合、迂回路がないため時間がかかり、会議や飛行機などの時間に間に合わない場合がある。
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	<ul style="list-style-type: none"> ・高度医療施設が当該道路の手前にあるため分からない。
その他意見・要望			<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅ではなく自動車専用道路もしくはバイパス道路での整備を希望する。 ・所要時間が読めるため、十分な余裕をもつての行動が軽減される。 ・未整備区間東彼杵道路の整備を行うことで、西九州道路と連動して機能し、観光や地域経済活動に貢献すると考えられる。

自治体ヒアリングの結果

自治体への意見聴取結果【松浦市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について			意見(松浦市)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	<ul style="list-style-type: none"> ・物流及び観光共に現時点においては福岡方面を向いている。 ・西九州自動車道(松浦佐々道路)の更なる進捗、西九州自動車道(佐世保道路)佐々～大塔間の4車線化などの完成、ハウステンボス周辺地域へのIR誘致や佐世保港における国際クルーズ船の寄港増加などにより、西九州北部地域における広域連携が今後高まってきた場合には、当該道路の需要はさらに高まると思われる。 ・松浦市で行っている体験型旅行において、全国から来県される学校、グループなどが県内の観光と併せ体験される際に、県内の各地域が高規格道路でつながることで旅行行程の組み合わせが増えていくと思われる。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・西九州自動車道の進捗により福岡へのアクセス性が高くなり、運航する便数も多いため福岡空港を利用することが多い。 ・長崎空港利用の場合には、到着時間が読みづらいため他のルート(例:西九州自動車道～長崎自動車道など)を選択している。
安全	④交通事故が多い区間と感じる	⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	<ul style="list-style-type: none"> ・玄海原発における有事の際には、川棚町、東彼杵町への避難が必要となるが、避難に支障が生じる不安がある。 ※松浦市地域防災計画(原子力災害対策編)に基づき対応することとなり、松浦市は市内全域が30km圏内に位置することから、30km圏より外となる東彼3町(波佐見町、川棚町、東彼杵町)へ避難する。
	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる		
【防災】	⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い		
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次救急医療機関として、松浦中央病院が令和2年11月1日より診療開始、第三次救急医療機関となる佐世保市総合医療センターが佐世保市にあるため当該道路との関連はない。
その他意見・要望			—

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【大村市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(大村市)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	<p>①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある</p> <p>②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している</p>	<p>・物流において、郵便や宅配便などの県の拠点が大村市にあり、県北地域へも多く輸送されていることから、速達性の向上は重要な課題となっています。</p> <p>・また、観光面でも、長崎空港を起点としたハウステンボスなど県北地域への観光連携の強化にも、速達性や定時性向上が重要と感じます。</p>
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・本市は、総合計画において、長崎空港の利便性向上と機能強化を図っていくこととしており、定期路線の増設や増便、貨物輸送の強化、24時間化などを実現するためには、長崎県全体で取り組む必要があり、県北地域から長崎空港までの速達性、定時性の向上は、喫緊の課題となっています。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・交通量も多く、急カーブ区間も多いため、事故が多い区間と感じます。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・2車線区間で交通量が多く、迂回路がない区間もあるため、事故の規模などによる時間のロスが計算できないと感じます。
【防災】	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・町境区間は、山間部でがけ崩れの危険性が高く、迂回路もないため、通行できるかや災害に遭わないかなど、大雨時など災害発生時の通行に不安を感じます。	
	⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・自治体間の災害支援(ライフライン・物資輸送など)において、災害時の代替路線の確保は重要と感じます。(給水車災害派遣など実績あり)	
【医療】	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・本市にある長崎医療センターは、川棚町などから救急搬送を行うため、確実かつスムーズな交通の確保は特に重要な課題と感じます。	
その他意見・要望		<p>・東彼杵道路は、長崎自動車道と西九州自動車道を最短で結ぶ道路で、大村市から県北地域における速達性や定時性が飛躍的に向上し、大村市の発展に大きな役割を果たすものと確信しています。</p> <p>・また、佐世保市へのIR誘致が実現すると、空港からのアクセス道路として、整備は急務となることから、バイパスによる早期整備をお願いします。</p>	

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【諫早市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(諫早市)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	<p>①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある</p> <p>②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している</p>	<p>・東彼杵道路の整備による移動時間短縮効果が、観光客の周遊行動を活発化し、県南北の広域的な観光消費が促進され、交流人口の拡大と地域経済の活性化が期待される。また、同道路は大村湾沿いの絶景ルートの一部であり、ドライブ、ツーリング、サイクリング等の目的で、諫早市の多良見地域(大草地区)を訪れる観光客の増加も期待される。</p> <p>・諫早インター周辺には、製造業を中心とした5つの工業団地等が集積し県内有数の産業集積拠点となっている。このことは道路が社会、経済、産業、生活活動等を支える社会基盤であることを意味するものであり、東彼杵道路を整備することは、効率的な広域物流ネットワークが形成、強化され、また、空港、高速インター等の交通拠点へのアクセスが向上し、道路の社会的役割が最大限に発揮できるものと考えている。</p> <p>・東彼杵道路が整備されることにより、ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどの渋滞が緩和されると、更なる県南北域の集客向上に繋がるとともに通年を通して整備効果が期待できる。</p>
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・意見なし
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・意見なし
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・意見なし
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・意見なし
	⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・意見なし	
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・意見なし
その他意見・要望		・スポーツ振興の面から、県央地域で開催される競技大会や練習会等で土日の2日間で行われる場合でも、県南北地域が日帰り圏になることで参加が容易になる。	

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【雲仙市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(雲仙市)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	<p>①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある</p> <p>②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している</p>	<p>・雲仙市から佐世保・県北地域へ牛肉や豚肉(生体)を出荷していますが、針尾～東彼杵間は特に道路勾配が急でカーブが連続しているため、輸送車両の通行に走行速度を上げることができず、特に通勤、通学の時間帯には渋滞が発生するためさらに時間がかかり、輸送に支障を来します。</p> <p>・長崎県屈指のテーマパークであるハウステンボスは全国的に有名であり、年間を通じて多くの観光客が訪れていますが、長崎自動車道の東そのぎIC出口は国道34号であり、県内では長崎、大村、島原方面、県外からは佐賀、福岡方面から車両が集中する場所で、特にゴールデンウィークにおいては激しい渋滞が発生し、目的地への到着時刻に影響を及ぼします。</p>
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・雲仙市役所から諫早IC～大村ICを經由して長崎空港に至るまでの距離は約37キロメートル、所要時間は約1時間です。一方、佐世保市役所から佐世保中央IC～武雄JCT～大村ICを經由して長崎空港に至るまでの距離は約65キロメートル、所要時間は約1時間ですので、当市と比較してアクセスが悪いと言えるかどうかは分かりません。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・当該区間における交通事故発生件数等の情報がないため分かりません。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・当該区間を通行中に交通事故が発生したことがないため分かりませんが、道路地図を見る限り付近に代替路となるような幹線道路がありませんので、両車線を塞ぐような交通事故が発生した場合には通行に相当な時間を要することが想定されます。
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・当該区間は起伏の大きな地形であり、一部は海から道路を隔てた山側が急峻な崖地となっていることから災害が発生しやすい場所であると思われるので、法面崩壊等により交通が遮断される事態が想定されます。
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・地図を見る限り、当該地域には国道205号の他に幹線道路がなく、災害等により国道が遮断された場合には相当の迂回が必要となることから住民の避難や救助・救援活動に支障を来すことが想定されます。
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・地域の状況に不案内であり医療施設の場所も不明のため分かりません。
その他意見・要望		・特にありません。	

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【島原市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(島原市)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	・そう感じる。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	・渋滞緩和が望ましい。
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・西九州道の利用も考えられるが、空港へのアクセスは悪く感じる。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・不明。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・片側1車線道路であるため、事故渋滞が起こりやすい。
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・災害発生時に利用出来るバイパス道路及び規格の高い道路が必要である。
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・同上
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・同上
その他意見・要望		—	

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【南島原市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について			意見(南島原市)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	・県の南北間の移動所要時間が読めず、産業や観光の連携に支障があることは窺える。とくに世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」においては、本市原城跡と県北(平戸・佐世保)の構成資産との結びつきも重要であることから、ハウステンボスなどからの誘客を考えると、今後の観光面での連携した取り組みが期待できる。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	・ハウステンボス(イベント開催時等)・佐世保市内を目的地とする場合が多く国道205号を利用すると効率よく経済的であるが、混雑が度々でありやむなく西九州道を利用する状況である。
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・主要都市の中ではアクセスが非常に悪く、空港までの所要時間が読めない。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・日常的な利用が無いため解らない。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・日常的な利用が無いため解らない。
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・日常的な利用が無いため解らない。
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・日常的な利用が無いため解らない。
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・日常的な利用が無いため解らない。
その他意見・要望			・長崎県内第2の主要都市であることから、高速道との交通アクセス改善は必要不可欠であると考えます。

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【長崎市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について			意見(長崎市)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	・特に意見なし
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	・特に意見なし
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・特に意見なし
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・特に意見なし
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・特に意見なし
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・特に意見なし
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・特に意見なし
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・特に意見なし
その他意見・要望			<p>・本県では、令和3年度末の九州横断自動車道長崎大分線(長崎自動車道)(長崎～長崎芒塚)4車線化をもって『クロス』ネットワークの構築が完了することとなることから、今後は、『リング』ネットワークの構築を推し進めていくことが重要であると考えます。</p> <p>・意見聴取の対象である高規格道路「東彼杵道路」は同じ高規格道路である「西彼杵道路」「長崎南北幹線道路」とともに、大村湾を中心とした『リング』ネットワークを構成する道路であり、その一体的な整備が図られることで、県北と県南の移動時間の大幅な短縮による観光振興、産業振興、交流拡大はもちろんのこと、大村湾を挟んだダブルネットワークの構築による県土の強靱性向上に大きく寄与します。また、ハウステンボスで誘致が進められている特定複合観光施設(IR)が生み出す県内外の経済活性化や国内外との交流促進にも大きく貢献するものと考えます。</p>

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【長与町】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について			意見(長与町)
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の観光や商業など地域産業の振興に対する道路整備への期待が高い。 ・特にハウステンボス(IR誘致)など観光地への交通アクセス対策は集客や広域周遊の観点からも整理の必要性があるものとする。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウステンボスのイベント開催時や観光繁忙期の渋滞により、周辺地域の生活・産業活動に影響が生じていると推察される。 ・「周辺地域の生活利便性を向上」と「目的地への速達性・定時性確保」を解決する手段として、「沿線発着交通」と「通過交通」の分離を期待できるダブルネットワーク化が有効であるとする。
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	—
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	—
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	—
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	—
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	<ul style="list-style-type: none"> ・国道205号周辺に代替機能を有する道路がない。国道205号の機能強化を図るか、もしくは新たなルートの整備しダブルネットワーク化を図ることで、平常時・災害時を問わない信頼性の高い安定的な道路ネットワークを確保に繋がるのでは考える。
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	—
その他意見・要望			<ul style="list-style-type: none"> ・東彼杵道路整備は、長崎南北幹線道路及び西彼杵道路の整備と併せて環大村湾地域と他地域のアクセス向上、ならびに長崎県内の広域周遊観光の促進が期待できる生産性の高い道路と考えており、環大村湾自治体として東彼杵道路の早期実現を期待している。

自治体ヒアリングの結果

■自治体への意見聴取結果【時津町】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(時津町)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある	・時津町としては、特段意見なし。
		②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している	・時津町としては、特段意見なし。
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・時津町としては、特段意見なし。
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・時津町としては、特段意見なし。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・時津町としては、特段意見なし。
【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる	・時津町としては、特段意見なし。
		⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い	・時津町としては、特段意見なし。
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・時津町としては、特段意見なし。
その他意見・要望		・時津町交差点付近では、1日あたり4万台を超える交通量があり、上記に掲げる問題点を多く抱えている。 ・このようなことから、高規格道路長崎南北幹線道路の新規事業化について、ご高配をいただきたい。	

自治体ヒアリングの結果

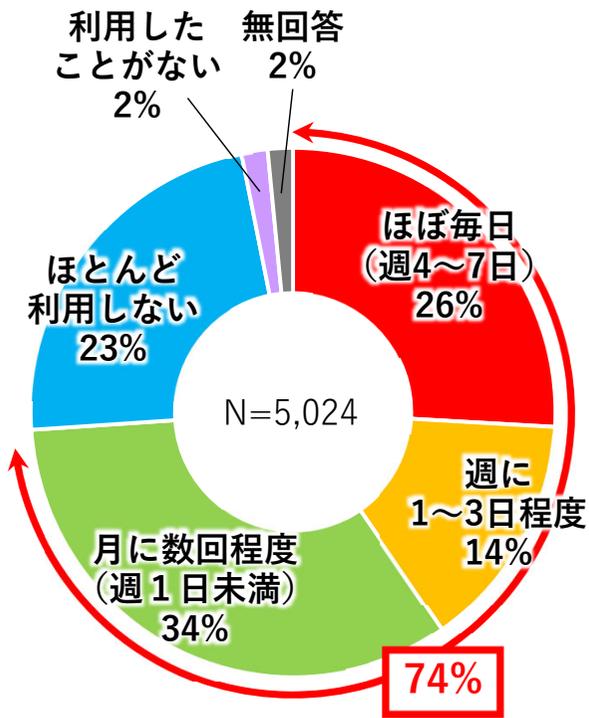
■自治体への意見聴取結果【西海市】

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の課題について		意見(西海市)	
【産業・暮らし】	産業・広域連携	<p>①県の南北間の移動に時間がかかり、産業や観光等の連携に支障がある</p> <p>②ハウステンボスのイベント開催時やゴールデンウィークなどに渋滞している</p>	<p>・当市は担当部局で県振興局が県北及び県央、県庁と分散しているそのため、県北から県庁まで同日に業務を行う場合、国道206号が最短ルートとなっている。しかし、東彼杵道路が整備され移動時間の短縮が図られることで移動負担軽減が見込まれる。</p> <p>・時間がかかるのは常々感じている。</p> <p>・ハウステンボスのイベント時期や大型連休中、帰省時など長崎空港への送迎する際、同区間は、通行車両が多く自然渋滞、信号渋滞に加え事故渋滞に遭遇する機会が多く移動時間が読みづらい。</p> <p>・ハウステンボスIR誘致の展開があり、さらなる渋滞が懸念される。</p>
	空港アクセス	③県北地域から長崎空港までのアクセスが悪い	・同上
	安全	④交通事故が多い区間と感じる	・片側1車線で線形不良区間が多くあり、右折や合流車両による事故をよく見かける。
		⑤事故で通行止めとなった時に通行に時間が掛かる	・国道205号が通行止めの場合は、ハウステンボスから川棚町間は県道4号、142号、222号、1号が主な迂回路と想定するが、川棚町から東彼杵町間は、県道1号線しかなく佐賀県側へ大きく迂回するため時間が掛かり利便性が悪い。
	【防災】	防災	⑥災害発生時に道路を利用出来るか不安を感じる
⑦災害時の避難路や物資輸送機能を果たす代替路が沿線に無い		・特に意見なし。	
【医療】	医療	⑧救急医療施設までのスムーズな搬送に不安がある	・当市からの救急搬送や緊急入院時に大村市内にある医療施設に搬送されるケースが稀にあるが、距離があるため渋滞等移動時間が掛かることについての不安がある。
その他意見・要望		<p>・この区間については、右折やバスレーンが少なく渋滞や事故が発生しやすいと感じる。</p> <p>・西彼杵道路整備に加え東彼杵道路が整備されることは、南北に長い本県の交通の課題を解消する重要な方策と考える。</p> <p>・上記の課題が改善されることを望む。</p>	

第1回意見聴取の結果(参考:【回答者属性】)

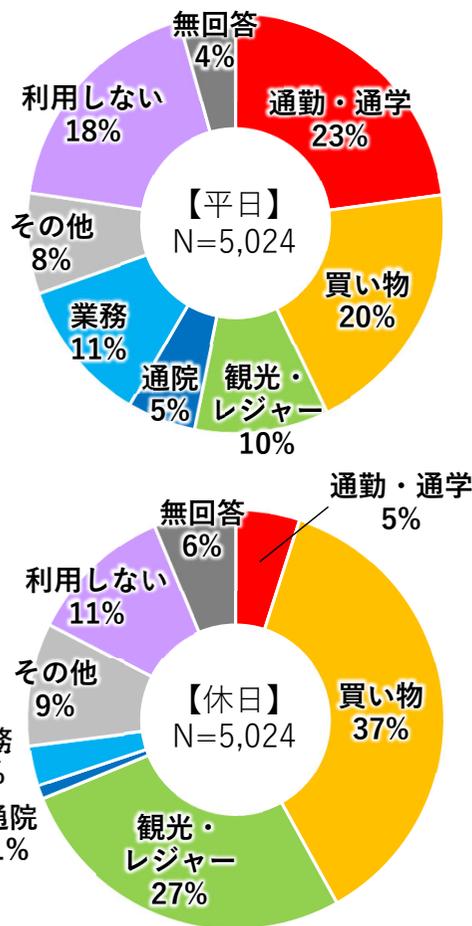
- 回答者の7割以上の方が対象区間を利用している。
- 利用目的は、平日で「通勤・通学」や「買い物」、休日で「買い物」や「観光・レジャー」が約2割を超える。
- 利用交通手段の約8割が「自動車」を利用している。

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の
利用頻度



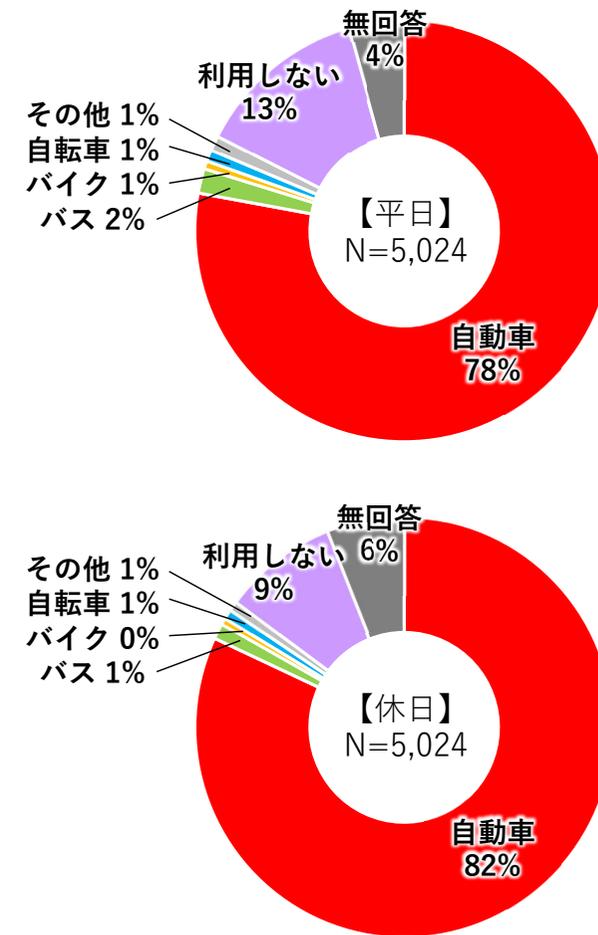
※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の
利用目的



※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある

国道205号(佐世保市～東彼杵町間)の
移動手段



※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある